

會議中の去る八月5日ストックホルムの一新聞面に現はれた漫詩で各天文學者の特徴を表はしてゐる。

- 雙子 (捷) フロロインドリヒ博士 (瑞典) フォンクック博士 (捷) 魚月 (獨) ショア博士 (佛) エスタランゴ議長 (白) スヤンダグス教授
- 蟹 (瑞典) ノルデグレン博士 (瑞典) フルナンナ博士 (瑞典) ノルデグレン博士 (瑞典) ノルデグレン博士 (瑞典) ノルデグレン博士 (瑞典) ノルデグレン博士 (瑞典) ノルデグレン博士
- 大熊 (瑞典) ノルデグレン博士 (瑞典) ノルデグレン博士 (瑞典) ノルデグレン博士 (瑞典) ノルデグレン博士 (瑞典) ノルデグレン博士 (瑞典) ノルデグレン博士
- ヘルクレス (白) スヤンダグス教授

ストックホルム會議に表はれたる“星座”

* 夫人にまぢがへられた日

去る3月23日の午後 大阪にて
ブラネタリウム川柳會より

“太陽”

| | |
|-------------------|-----|
| 先約の二階朝から日が當り | くもを |
| 日食へ僕も僕もの聲を聞き | 楠美 |
| 黒點を話す博士の若すぎる | 斗風 |
| 日蝕に觀測陣ははりきつて | 幸葉 |
| わたしの太陽などと書いて來る | 栞 |
| 全快に近い壘へ陽が入り | 尺琴 |
| 太陽へまともに飛んだ本壘打 | 謙南坊 |
| 太陽に感謝がしたい療養所 | 光喜 |
| 日の丸と太陽の畫は子がうまい | 尺琴 |
| 太陽が好きで鉢巻しめて出る(人) | 潮花 |
| 鹽のような太陽の出る島に病み(地) | 黙平 |
| 太陽へ乳屋車のふたを開け(天) | かほる |

“月”

| | |
|-----------------|-----|
| トラックが街道一の月をあび | 無煙 |
| 月夜とは知らず約束してしまひ | くもを |
| 哨兵の交代惜しい月があり | 守男 |
| ひるの月みて佗びしきは四十過ぎ | 斗風 |
| 宿直へだまされさうな窓の月 | 尺琴 |
| 皇軍の夜襲が迫る月が落ち | 美知夫 |
| わけのある二人は月を背に行き | 黙平 |
| 防空に心齋橋は月あかり | 光喜 |
| 酔さめの水に靜かな月を見る | 謙南坊 |
| いゝ月夜散歩のやうに巡查行き | 同 |
| 死に行く男女へ月がつきまとひ | 潮花 |
| 上段と下段に寫すダムの月 | 無煙 |
| どの月も漫畫で見れば笑つて居 | 東魚 |
| 馳ける馳ける月に心をのぞかれた | 同 |